

安野光雅 物語の街から村へ



「三文オペラ」 © 空想工房

2026年9月9日(水)→12月7日(月)

開館 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日 祝祭日の場合は翌日休館

9/22(火)・9/23(水)開館、9/24(木)休館

入館料 一般1,000円、中高生600円、小学生400円(第三日曜日 小学生無料)

場所 京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森

TEL/FAX 0772-84-9901

主催 森の中の家 安野光雅館
出展協力 津和野町立安野光雅美術館

森の中の家
安野光雅館

和久傳



「トム・ソーヤーの冒険」 ©空想工房



「二十四の瞳」 ©空想工房



「注文の多い料理店」 ©空想工房

安野光雅 物語の街から村へ
(津和野町立安野光雅美術館所蔵)
 心ふるむす数々の文学を一枚の絵に凝縮した
 安野光雅の世界。シェイクスピア・アンデルセン・
 漱石・鴎外・ゲーテ…文学の旅は続く。



安藤忠雄

(あんど う ただお)

建築家。1941年大阪生まれ。

代表作に「光の教会」

「フォートワース現代美術館」

「プンタ・デラ・ドガーナ」など。

写真：関野欣次



安野光雅

(あんの みつまさ)

画家。(1926年-2020年)

94才逝去。絵本作家と

してデビューとなった

「ふしぎなえ」は世界中で
 大好評となった代表作。

提供：安野光雅美術館



画家・安野光雅の世界が、
 建築家・安藤忠雄の設計による美術館に広がる

和久傳 桑の日キャンペーン

2026年9月8日(火)～13日(日)

※8日は火曜日で定休日のため、工房のみの先行実施、翌9日より全体的に実施

丹後ちりめんでは知られる京丹後はかつては各地に桑畑が広がる土地でした。
 和久傳ノ森では、この地の記憶を未来へつなぐため、敷地内で桑を育てています。
 語呂合わせの「く(9)わ(8)」より、9月8日を「和久傳 桑の日」としました。

期間中 美術館にご入館いただいたお客様限定

MORI Wakudenにて
 桑を使用したスイーツをプレゼント

工房をご訪問の方に
 特別試食サンプルをプレゼント
 どちらも各日先着98名様



※画像はイメージです

美術館 小学生無料の日

毎月第3日曜日は小学生無料です。
 多くの子どもたちに原画に触れて絵画を楽しんでいただきたいと思います。
 ぜひお越しください。

「京丹後にありがとう 和久傳ノ森」

2026年9月13日(日)

京丹後市民の皆様 美術館 入館無料

京丹後の豊かな自然と文化、地域の方とのつながりに支えられてきた和久傳が、これからの地域発展と豊かな未来を願って、
 9月13日(日)京丹後市民の皆様には美術館に入館無料にします。
 和久傳ノ森に息づく自然や芸術をお楽しみください。

※美術館受付にて京丹後市民であることを確認できる書類
 (運転免許証や資格確認証等)のご提示をお願いします。

オンラインショップ開設のお知らせ

安野光雅の高精細複製画で安らぎの空間を…
 大切な方への贈り物としても最適です。



- ・和久傳のエンボス入り
- ・著作権者の明記
- ・美術館グレードの
 最高級アート紙を用いた
 高精細ビゾグラフ作品です。



和久傳ノ森

植物生態学者の宮脇昭先生のご指導により、2007年より手がけた和久傳ノ森は、自然の恵みに感謝し、美しい地球環境を守っていきたいという願いをこめたものです。五十六種類の樹々三万本を苗木から植え、森が育ってきました。山椒の木やフキノトウなど四季折々の自然が息づいています。

和久傳の工房

豊かな自然の中で原材料を吟味し、地元の食材もふんだんに使用し、一つ一つ丁寧に手作ししております。
 れんこん菓子『西湖(せいこ)』、ちりめん山椒などの製造工程を回廊よりご自由にご覧頂けます。

MORI
 WAKUDEN



レストランのお問合せ TEL:0772-84-9898 営業時間 10:00～18:00(ラストオーダー17:30)

森から始まる、食の原点へ。

水・土・生命の循環を育む森を起点に、和久傳が長年大切にしてきた思想の原点に触れられる場所です。
 丹後を中心とした地元の野菜や魚を使った料理・カフェメニューをはじめ、隣接の工房で手がけたお菓子や惣菜、地元の調味料・日本酒などの産品が揃うショップも併設。
 森と食のつながりを、五感で感じてください。

森の中の家

安野光雅館



〒629-3559 京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森
 TEL 0772-84-9901
<https://mori.wakuden.kyoto/>

交通のご案内

- | | |
|-------------|--|
| 鉄道利用 | 京丹後鉄道 久美浜駅、峰山駅から丹海バス
久美浜線「谷工業団地前」下車、徒歩5分。
和久傳ノ森にお越しください。 |
| タクシー | 京丹後鉄道 久美浜駅から15分
京丹後鉄道 峰山駅から25分
JR豊岡駅から35分 |
| お車の方
駐車場 | 京都縦貫道 京丹後大宮IC下車25分
美術館前 バス5台、普通車100台 |
| 駐車料金 | 無料 |



和久傳 桑の日キャンペーン

2026年9月8日(火)～13日(日)

※8日は火曜日で和久傳ノ森 定休日のため、工房のみの先行実施、翌9日より全体的に実施



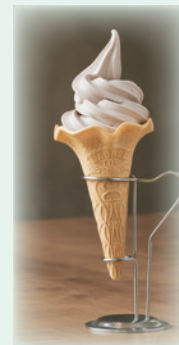
— 森のシンボル 桑を知り、味わう6日間 —

明治3(1870)年、丹後の料理旅館から始まった和久傳は、昭和57(1982)年に京都・東山で料亭としての歩みを始めましたが、故郷への恩返しをという思いから、開発により失われたかつての森を取り戻すため、2007年、創業の地・京丹後に56種3万本の苗木を植えました。19年を経た今、自然の恵みを食へ、土地の文化や記憶を次の世代へつなぐ「和久傳ノ森」へと育っています。

期間中 美術館にご入館いただいたお客様限定

🍃 レストラン MORI Wakuden にて
桑を使用したスイーツをプレゼント

🍃 工房をご訪問の方に
特別試食サンプルをプレゼント
どちらも各日先着98名様



※画像はイメージです



2026年9月13日(日)

「京丹後にありがとう 和久傳ノ森」

京丹後市民の皆様 美術館 入館無料

京丹後の豊かな自然と文化、地域の方とのつながりに支えられてきた和久傳が、これからの地域発展と豊かな未来を願って、京丹後市民の皆様に「森の中の家 安野光雅館」の入館を無料にします。
和久傳ノ森に息づく自然や芸術をお楽しみください。

**※美術館受付にて京丹後市民であることを確認できる書類
(運転免許証や資格確認証等)のご提示をお願いします。**

和久傳ノ森

京都府京丹後市久美浜町谷764

森の中の家

安野光雅館

美術館

TEL 0772-84-9901

MORI
WAKUDEN

レストラン

TEL 0772-84-9898

和久傳